授業名	**信州学**		
英文授業名 ※大学によっては英文成績通知書の記載のために必要となりますので，必ずご記入ください。	Find out more about Shinshu		
開講期間	2026 年度 後期		
単位数	1 単位		
授業提供大学	信州大学		
主担当教員氏名	高野嘉寿彦		
副担当教員氏名	小山茂喜 松宮慎治		
授業のねらい ※該当しないもの行は削除してください。 ※授業で得られる地域活性化人材の能力と対応するように本授業の達成目標を設定してください。 ※「～することができるようになる」「～することができる」という形での目標設定を推奨します。	授業で得られる 地域活性化人材の能力	⇔	本授業の達成目標
	α　信州の活性化に係る知識・技能	⇔	信州の風土の特性とその風土を活かした人々の生活の概要を理解する。
	γ　信州の活性化に係る課題を主体的・対話的に発見・解決しようとする態度	⇔	学究並びに余暇において信州と自らの関わりを深める行動がとれるようになる。
授業の概要	「信州」の地域性を自然・文化・産業という視点から知ることを通して、信州に暮らす大学生自らの学究生活の充実を目指します。		
授業の計画	第 1 回	県歌「信濃の国」から見た信州の風土	
	第 2 回	信州の自然環境と人々の暮らし①	
	第 3 回	信州の自然環境と人々の暮らし②	
	第 4 回	信州の生活と文化①	
	第 5 回	信州の生活と文化②	
	第 6 回	信州の歴史	
	第 7 回	信州の産業と人々の暮らし①	
	第 8 回	信州の産業と人々の暮らし②	
評価 ※100 点満点の点数をどのように付けるのかを記載ください。(小テストの回数や配点等)	各回に課す小テストクイズとレポート(60%)とまとめのレポート(40%)によって総合的に評価する。 毎回課すレポートにおいて、地域と人々の暮らしとがどのような関連性を持っているかを、具体例を通して論ずることができることを規準(到達目標)とし、自らの生活に生かす方策を考えたり、実際に調査したりした成果を内容に盛り込むことができた場合(かなり上にあるの基準)として内容の充実度によって評価します。		
事前事後学習の内容	学習したことをもとに、自分の五感(読む・見る・聞く・味わう)を使って信州を探索する。		
履修上の注意	本授業では、「主体的に考え、地域・社会を創造する志向」を養うことを目指します。そのため、授業を受講するにあたって必要な基礎知識を事前に学習することを前提とします。受講者は新聞・書籍・論文・インターネットなど各種メディア		

	を使って関連する知識を収集し、整理をすることを求めます。 情報の利用にあたっては出典等を確認し、妥当なものを用いることに注意してください。レポート作成の際の引用時には出典を明らかにし、自身の考えと引用部分が明確に分かるようにしてください。
教科書	指定しない。必要に応じて資料の配布を行う。
参考書	指定しない。必要に応じて参考情報を提示する。